

# 令和 2 年度 事業計画書

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

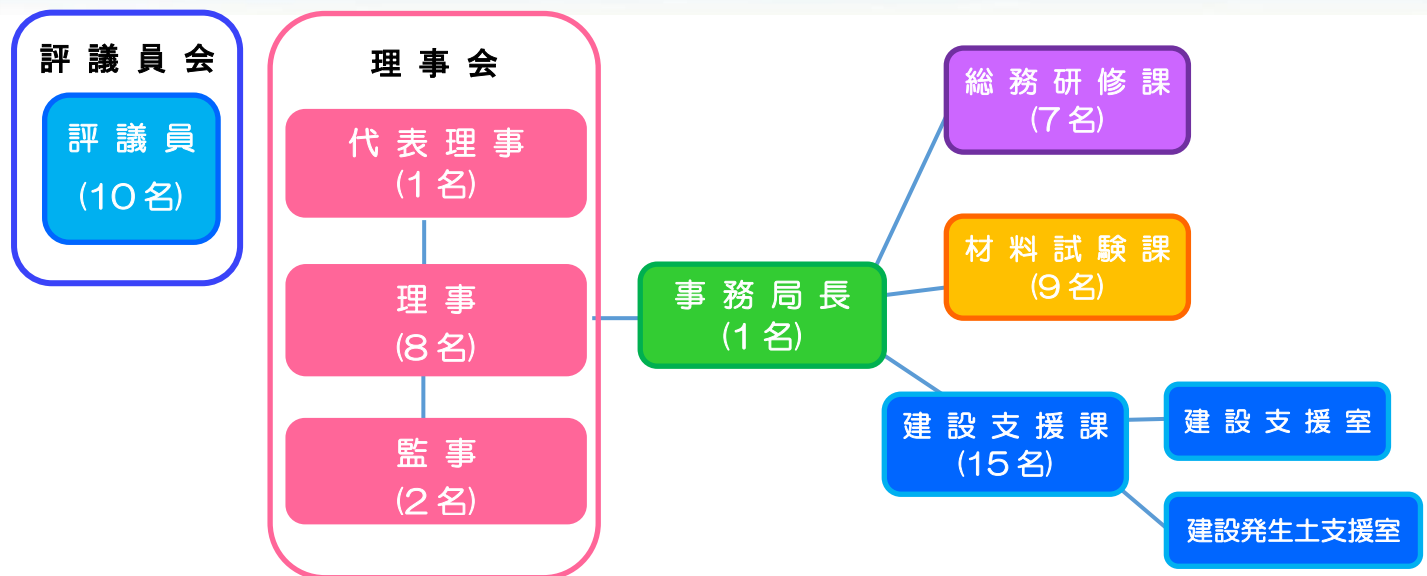


公益財団法人鳥取県建設技術センター

# 目 次

①	組織	1 頁
②	事務局職員	1 頁
③	令和2年度事業一覧表	2 頁
④	経営改善計画の進捗について	3 頁
⑤	社会資本整備事業	4～15 頁
	1-1 研修事業	(4頁)
	1-1-1 自主研修	(4～5頁)
	1-1-2 受託研修	(6頁)
	1-1-3 その他の研修	(6頁)
	1-2 図書等頒布事業	(7頁)
	1-3 試験検査事業	(8頁)
	1-4 技術支援事業	(9頁)
	1-4-1 技術支援業務	(9～11頁)
	1-4-2 インフラ維持管理支援	(12頁)
	1-5 建設発生土受入事業	(13～15頁)
⑥	法人の運営・管理の運営	16頁

# 1 組織



※人数は臨時的任用職員含む

# 2 事務局職員

(令和 2.3.1 現在)

所 属	主な業務	職 名	氏 名	備考
		事務局長 (兼) 総務研修課長	浅田 正人	
総務研修課	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修事業 自主研修、受託研修</li> <li>鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会事務局</li> <li>図書頒布事業</li> <li>建設工事下請取引調査</li> </ul>	参 与	三原 正司	
		主 幹	井上 純一	
		主 幹	前田 民子	
		主 幹	浦田 純子	
材料試験課	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験検査事業</li> <li>調査研究活動</li> <li>再生砕石品質調査試験</li> </ul>	課 長	宮脇 泰一郎	
		参 与	松井 信作	
		主 幹	大西 慶祐	
		技 師	川本 和也	
建設支援課 建設発生土支援室	建設発生土受入事業	課 長	澤 邦洋	(出向)
		室 長	吉田 和史	
		参 与	前田 健文	
		技 師	岡野 博樹	
技術支援室	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術支援事業 県、市町村等の積算、監督補助、検査業務</li> <li>市町村インフラ維持管理支援</li> <li>新技術への支援</li> </ul>	課長(兼)室長	澤 邦洋	
		参 与	赤川 定	
		参 与	反田 敏博	
		副主幹	竺原 努	
		副主幹	井上 和大	
	技 師	石井 一彦		
	技 師	石黒 友規		

社会資本整備事業

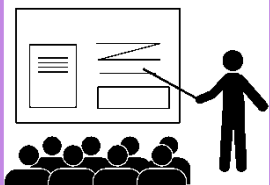
【公益目的事業】

担当課：総務研修課

担当課：材料試験課

担当課：建設支援課ほか

研修事業



- ・ 自主研修
- ・ 受託研修
- ・ その他の研修

図書等  
頒布事業



- ・ 図書頒布
- ・ けんせつ絵本の貸出
- ・ けんせつ絵本のおはなし会

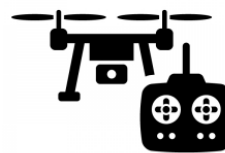
試験検査事業



- ・ 試験検査事業
- ・ 調査研究活動

技術支援事業

担当  
技術支援室



- ・ 技術支援事業
- ・ 県等からの委託  
14業務
- ・ 市町村からの  
委託4業務
- ・ 災害復旧支援
- ・ ひび割れ相談
- ・ ドローン空撮

建設発生土

受入事業

担当  
発生土支援室

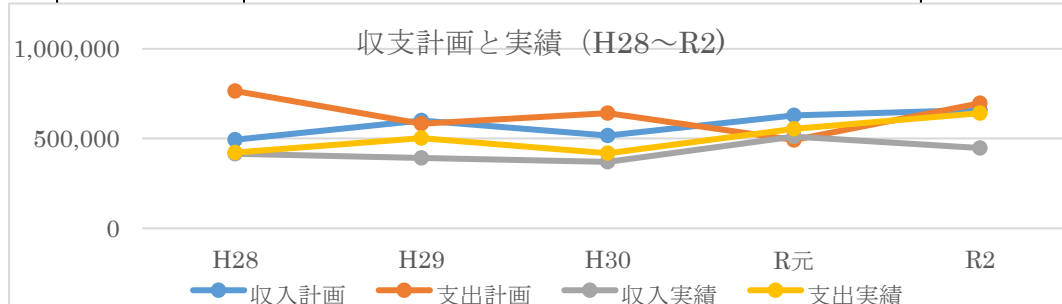


- ・ 建設発生土受入  
令和2年度受入  
岩美第二（岩美町）  
帽子取第二（琴浦町）  
小町（伯耆町）  
小原（日南町）

## 4 経営改善計画の進捗について

### (1) 収支状況

	H28	H29	H30	R元(見込み)	R2
収入計画	493,892	600,595	517,716	629,293	659,351
支出計画	764,902	583,052	641,292	492,321	697,124
収支差(計画)	△271,010	17,543	△123,576	136,972	△37,773
収支差累計	△240,071				
収入実績	415,026	392,568	370,189	511,012	449,300
支出実績	421,801	502,814	418,212	553,862	644,866
収入差(実績)	△6,775	△110,246	△48,023	△42,850	△195,566
収支差累計	△207,894				



〔収支状況〕 H28～R 元の4年間の収支差の合計額は、計画：△240,071千円に対し△207,894千円となった。(留保資金により補填している。)

〔主な理由〕 建設発生土受入事業について、計画していた「山上事業所」「鶴田事業所」の中止等により新規開設に伴う準備工事費を先送りしたことから赤字幅が減少した。  
また、技術支援事業では、市町村に対する積算業務や橋梁アドバイザー業務の拡大により計画に対し約70,000千円の黒字となり赤字幅が減少した。

〔課題〕 安定した経営を保つためには、県内全域の適地へ受入事業所の早期開設  
現在実施している市町村に対する技術支援の更なる拡充と新たな技術支援の普及

### (2) 取組状況と成果 (H28～R 元)

事業	目標	取組状況・成果
研修	・「技術者の健全な育成を支える研修」 「IT長寿化計画を支える研修」「若手技術者研修の拡充」の3本柱に基づく研修の充実	・災害対応、IT維持管理、基礎研修、情報系（ICT）研修等、時代のニーズに即した実践的な内容を企画し、演習やグループ討議を組み合わせ、効果の高い研修を開催した。また、経営管理研修ではICT等による生産性向上や働き方改革の取組みについて紹介し、受講者からは情報計アプリの活用等、できるところから積極的に取り組んでいきたいとの感想が多く聞かれた。 ・年間4,400名の目標を達成した。
試験	・ISO17025の維持 ・新規試験導入  ・調査研究業務の充実	・H30 JNLA (ISO17025) 登録更新 ・土質の三軸試験、コンクリート残存膨張量試験 (H29) レゾナンスコンクリートの練混ぜに用いる水の試験 (H30) ・練混ぜ設備を充実し、試験練りにより普通コンクリートの基本配合を決定した。リサイクル材料を用いたポラスコンクリートの研究に向け、用途に応じた使用材料を選定中。
技術	・市町村に対する発注者支援事業の拡充 ・世代交代に伴う技術力の維持、向上	・橋梁補修アドバイザー業務の拡充及び災害復旧技術支援開始 ・資格取得（コンクリート診断士2名、公共工事事業品質確保技術者4名）
発生土	・新規事業所の開設	・事業所候補地の調査を行い、中部地区では帽子取第2事業所が開所し、東部では美成候補地、西部では小町候補地の開所に向け準備を進めている。

### (3) 課題に対する対策

事業	課題に対する対策
研修	早期離職が多いことから、新人・若手技術者の育成・現場で役立つ実践的な研修を拡充する。また、少子高齢化による人材不足から生産性の向上が必要であり、情報系（ICT等）研修等を開催する。
試験	事業量の確保、専門性の高い三軸試験等の技術力の向上、調査研究業務の具体化が課題であることから、需要の見込まれる試験を中心にPRを実施し、計画的な教育・訓練等により職員の技術力向上及び調査研究の目標を明確にする。
技術支援	老朽化するインフラの効果的・効率的な維持管理支援を行うため、市町村のニーズを捉え支援強化・充実に取り組む。
発生土	適地を選定し、早期に新規事業所を開設するため、県と連携し候補地の選定を行う。

## 5 社会資本整備事業

### 1-1 研修事業

令和2年度のポイント

#### 【自主研修】

○研修業務は、経営改善計画に基づき、「技術者の健全な育成を支える研修」「インフラ長寿命化計画を支える研修」「若手技術者研修の拡充」の3つの柱のもと、現場管理ができる技術者の育成を目指して基礎研修を充実させるとともに、災害、働き方改革、生産性の向上、品確法の改正（令和元年6月）を踏まえ、災害時の緊急対応に関する研修や働き方改革・生産性の向上に繋げるための研修を開催します。

#### 【鳥取県等からの受託研修】

○県土整備部技術職員研修を継続して受託します。

#### 【その他の研修】

○鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会では、主に建設系専門高校、鳥取大学に向け魅力発信、技術力向上、資格取得支援の取組をしてきました。社会人講師による授業は進路選択や進路決定にも繋がるとの評価もあり、次年度も取組を継続します。



#### 1-1-1 自主研修

業務名	内 容			予 算
				令和2年度 (令和元年度)
① 自主研修 (継続)	区分	講座数	受講者数	19,182千円 (18,997千円)
	令和2年度計画	48	4,400人	
	令和元年度計画	49	4,600人	
	対前年	△1	△200人	
	<p>《現場管理ができる技術者の育成》</p> <p>(1) 現場経験豊富な講師の講義や実技・演習を取り入れた研修は受講生の理解度が高いことや、新人技術者の基礎研修についてより分かり易く時間をかけて説明して欲しいといった、R元年度の検証結果や業界等のニーズを加味し研修内容を充実させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①基礎研修の更なる充実</li> <li>② ICTに関する研修やパソコンを使った操作研修の拡充</li> <li>③頻発する自然災害への対応研修</li> <li>④建築に関する研修の増設</li> </ul> <p>(2) 品確法改正（R1.6）の背景や理念を踏まえ、業界の意向に沿った研修を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①災害時の緊急対応の充実強化</li> <li>②働き方改革への対応</li> <li>③生産性向上への取組み</li> <li>④調査・設計の品質確保</li> </ul>			



令和2年度自主研修計画一覧表

区分	研修名		加点 研修	CPD研修			受講 者数	備考
				CPDS	コンサル 協会	建築士 会		
基礎研修の 更なる充実	1	【新規】ゼロから始める現場管理	技術	○	○		40	基礎的知識・技術をより 分かり易く解説し、1日 でも早く仕事に慣れて 建設産業に定着できる よう基礎研修を拡充す る。
	2	【新規】丁張り研修	技術	○	○	○	40	
	3	【新規】やさしい土質力学(2日間)	技術	○	○	○	40	
	4	【新規】やさしい構造力学(2日間)	技術	○	○	○	40	
	5	新人技術者のための施工技術基礎	技術	○	○	○	40	
	6	基礎から学ぶ土木工事積算		○	○		60	
	7	新人技術者のための公共工事基礎(2日間)	技術	○			40	
	8	新人・若手技術者のための土木材料品質管理	技術	○	○	○	40	
	9	新人技術者のための水理学	技術	○	○	○	40	
	10	建設業新人ビジネスマナー研修	人権同和	○	○	○	40	
ICTに関する 研修やパソコン を使った操 作研修の拡 充	11	【新規】建設現場の生産性向上	技術	○	○	○	80	品確法の改正を踏ま え、生産性の向上に繋 がる研修を拡充する
	12	【新規】CAD研修(基礎編)		○	○	○	60	
	13	【新規】デジタル写真管理		○	○	○	60	
	14	i-constructionにおける3次元データ活用	技術	○	○	○	100	
頻発する自然 災害への 対応研修	15	【新規】斜面災害の発生原因と対策	技術	○	○	○	100	品確法の改正を踏ま え、災害時の緊急対応 等に関する内容を追加
	16	事例から学ぶ災害対応(地震編)	技術	○	○	○	100	
	17	激甚化する豪雨災害への対応	技術	○	○	○	120	
建築に関する 研修の増 設	18	【新規】建築工事の安全管理	技術	○	○	○	60	
	19	建築工事の品質管理	技術	○	○	○	50	
	20	電気・機械設備の品質管理	技術	○	○	○	50	
その他	21	【新規】メンタルヘルス	人権同和	○	○	○	60	働き方改革関連
	22	コミュニケーション	人権同和	○	○	○	160	
	23	リーダーシップ	人権同和	○	○	○	120	
	24	人権に関する講習会	人権同和	○	○		180	
	25	【新規】事例から学ぶ現場の安全管理	技術	○	○	○	220	
	26	【新規】道路橋示方書に関する講習会		○	○		70	
	27	現場管理スキルアップ	技術	○	○		100	
	28	安全管理(リスクアセスメント)	技術	○	○	○	200	
	29	仮設工	技術	○	○	○	100	
	30	工事施工中の環境配慮	技術	○	○	○	120	
	31	土質・地質による工法選定	技術	○	○	○	100	
	32	軟弱地盤対策	技術	○	○	○	90	
	33	土木施工管理(共通編)	技術	○	○		100	
	34	施工計画	技術	○	○		120	
	35	受発注者のための品質確保	技術	○	○		110	
	36	標準見積書の作成	技術	○	○	○	100	
	37	コンクリートの品質管理	技術	○	○	○	40	
	38	現場の原価管理演習	技術	○	○		100	
	39	建設工事の入札制度	技術	○			150	
	40	【新規】橋梁維持補修(PC橋)	技術	○	○		60	
	41	【新規】橋梁維持補修(鋼橋)	技術	○	○		60	
	42	事例から学ぶコンクリート構造物ひび割れ補修	技術	○	○	○	120	
	43	道路構造物の維持管理	技術	○	○		100	
	44	橋梁点検と補修計画		○	○		60	
	45	河川構造物の維持管理	技術	○	○		60	
	46	のり面の維持管理	技術	○	○		100	
	47	経営管理Ⅰ	経営	○	○		280	
	48	経営管理Ⅱ	経営	○	○		120	
計							4,400	

### 1-1-2 鳥取県等からの受託研修

業務名	内容	予算 令和2年度 (令和元年度)
①県土整備部 技術職員研修 (継続)	技術職員の技術力向上、良質な工事執行の確保及び工事の監督業務の適正化を目的として、県土整備部技術職員研修を継続して受託します。 (鳥取県県土整備部技術企画課で研修内容を検討中)	4,372千円 (3,882千円)

(成果) 確認テストを演習やワークショップに切り替え、実践的・効果的な研修を実施した。

### 1-1-3 その他の研修

業務名	内容	予算 令和2年度 (令和元年度)
とっとり建設産業 の魅力発信講座 (継続)	<p>将来の県内建設産業の担い手確保を目的として、小中学生を対象に建設産業への関心や就業意識を高めるための講座を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座内容：出前説明会を近隣の小中学校(河北小、西郷小、上北条小、河北中)で開催予定</li> <li>・R1年度の実施状況               <ul style="list-style-type: none"> <li>①コンクリートと砂を使った橋作り</li> <li>②歩測体験(距離当てゲーム)、③ドローン実演等</li> </ul> </li> </ul>	0千円 (0千円)
鳥取県建設分野担 い手確保・育成連 携協議会：平成29 年1月設立 (継続)	<p>鳥取県建設分野担い手確保・育成協議会では、引き続き、各機関と連携しながら将来を見据えた持続可能な建設産業を目指し、建設産業の担い手の確保・育成のため各事業を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ホームページ保守管理               <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを活用した情報発信：技術者リレーインタビュー等</li> </ul> </li> <li>②研修等運営               <ul style="list-style-type: none"> <li>・けんせつ絵本おはなし会、</li> </ul> </li> <li>・第3回とっとりけんせつ魅力発信フォトコンテスト(小中学生一般)</li> <li>・職場体験学習(中学生)</li> <li>・魅力発信ガイダンス、UAV測量演習、CAD基本操作、土木積算、現場見学会、資格取得支援等(高校)</li> <li>・リスクマネジメント講座(大学)</li> <li>・1級、2級土木施工管理技士資格取得支援(既就労者)</li> <li>③協議会運営               <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会運営人件費等</li> </ul> </li> </ul>	6,544千円 (4,860千円)
計		6,544千円 (4,860千円)

(成果)・若年層への取組(魅力発信講座)により、中学校(職場体験)へ繋がった。

(魅力発信講座を受講した児童が、技術センターを中学2年生の職場体験の場所として選択。建設分野も将来の職業選択の一つとなっている。)

若年層への取組は、効果があると考えられる。若年層への情報発信、魅力発信に今後も務める。



## 1-2 図書等頒布事業

令和2年度のポイント

- 建設工事に関する図書等の販売をします。
- けんせつ絵本の貸出をします。



業務名	内 容	予算 令和2年度 (令和元年度)																														
図書頒布 (継続)	主に設計書等複写用プリペイドカードを販売します。  R2 年度図書等頒布一覧表	1,208 千円 (1,341 千円)																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>図 書 名</th> <th>部数</th> <th>販売単価 (円)</th> <th>R2 収入 (千円)</th> <th>R 元収入 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計、測量、地質・土質 調査共通仕様書</td> <td>5</td> <td>2,851</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>道路工事関係技術便覧</td> <td>10</td> <td>1,476</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>河川・海岸便覧 ほか3種</td> <td>10</td> <td>1,069</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>プリペイドカード (設計書等複写用)</td> <td>370</td> <td>3,157</td> <td>1,168</td> <td>1,302</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>395</td> <td></td> <td>1,208</td> <td>1,341</td> </tr> </tbody> </table>	図 書 名	部数	販売単価 (円)	R2 収入 (千円)	R 元収入 (千円)	設計、測量、地質・土質 調査共通仕様書	5	2,851	14	14	道路工事関係技術便覧	10	1,476	15	14	河川・海岸便覧 ほか3種	10	1,069	11	11	プリペイドカード (設計書等複写用)	370	3,157	1,168	1,302	計	395		1,208	1,341	
図 書 名	部数	販売単価 (円)	R2 収入 (千円)	R 元収入 (千円)																												
設計、測量、地質・土質 調査共通仕様書	5	2,851	14	14																												
道路工事関係技術便覧	10	1,476	15	14																												
河川・海岸便覧 ほか3種	10	1,069	11	11																												
プリペイドカード (設計書等複写用)	370	3,157	1,168	1,302																												
計	395		1,208	1,341																												

業 務 名	内 容	予算(支出) 令和2年度 (令和元年度)
けんせつ絵本の貸出 (継続)	<p>平成30年度から、子どもたちや保護者に建設産業の役割や大切さを知っていただくため、鳥取県の図書館ネットワークを活用し県内の公立図書館へ、けんせつ絵本(70冊)の貸出を行っています。</p> <p>貸出数は、9館に於いて延べ761冊となっており、けんせつ絵本を通じて、建設産業を身近に感じていただいています。</p> <p>令和2年度は、図書館4ヶ所での貸出を予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度：三朝図書館、湯梨浜図書館、北栄町図書館、琴浦町図書館</li> <li>・R元年度：泊図書館、わかさ生涯学習情報館、八東町図書館、郡家図書館、日野図書館</li> <li>・R2年度：日南町図書館ほか4ヶ所</li> </ul>	200 (200)

## 1-3 試験検査事業

令和2年度のポイント

コンクリート構造物の維持管理に関する試験や強度試験、現場施工で必要となる土質試験等の実施、技術力の向上に努めます。

○今後も継続して需要が見込まれる既存コンクリート構造物の維持管理に関する試験、道路・河川土工、補強土壁等の現場で必要となる三軸試験、及び建築工事の品質管理で求められる第三者試験機関（JNL A登録事業所）によるコンクリート強度試験、等を関係機関に積極的にPRし、事業量の確保に努めます。

### 1-3-1 試験検査業務

#### 【業務概要】

- ・老朽化が進む橋梁等インフラの点検・補修等で今後も継続して需要が見込まれるコンクリートの維持管理に関する試験
  - ・道路・河川土工、補強土壁等の現場に必要な土質定数を求める三軸試験
  - ・建築工事の品質管理で求められる第三者試験機関（JNL A登録事業所：JIS Q 17025 適合）によるコンクリート強度試験
- 等を中心に、関係機関（各協会等）に試験業務のPRに回り、事業量の確保に努めます。

#### 【試験項目別収入】

試験分類	令和2年度予算 A		令和元年度予算 B		増減額 A-B	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
土質	2,027	23,794	2,027	23,841	0	△47
骨材	819	5,599	939	6,432	△120	△833
コンクリート	26,949	35,190	26,529	34,641	420	549
アスファルト	337	693	597	1,227	△260	△534
鋼材	419	571	749	1,018	△330	△447
水	30	378	20	252	10	126
計	30,581	66,225	30,861	67,411	△280	△1,186

## 2 調査研究活動

コンクリート分野（リサイクル材料を用いたポーラスコンクリート等のコンクリートの軽量化）について調査研究活動を進めます。

用途に応じた使用材料を選定し、配合設計を行います。



## 1-4 技術支援事業

令和2年度のポイント

老朽化が進むインフラの効果的・効率的な維持管理と、市町村の技術者確保が課題となっている中で、近年、建設行政（積算、現場管理、検査、点検から補修の維持管理業務等）の支援要請が増えています。県・市町村のニーズに確実に応えるため、より一層の支援強化・充実に取り組みます。

- 県・市町村からの受託業務を計画的かつ効率的に実施します。
- 市町村の建設工事からメンテナンスまで総合的に支援します。
- 橋梁点検の支援・体制づくりを強化します。
- 建設 ICT 活用による生産性向上・業務効率化への取組を推進します。
- インフラ維持管理システムの市町村への普及拡大を目指します。



### 1-4-1 技術支援業務

#### 【業務概要】

- ・県、市町村からの各種受託業務を計画的かつ効率的に実施します。
- ・トンネル、下水道推進・管更生など特殊工事の積算に取組み、積算技術の向上、品質アップを図り、発注者（県、市町村）の支援を充実します。
- ・市町村の工事積算・現場技術業務、橋梁補修アドバイス業務、さらに検査補助業務を実施し、総合的な市町村支援を進めます。また、災害発生時には経験と実績を生かし、迅速かつ確実な災害復旧支援を行います。
- ・令和元年度から県で実施された橋梁直営点検について、市町村の点検・診断に拡大支援し、点検の効率化やコスト縮減に取り組みます。
- ・建設産業における生産性向上を図る建設 ICT 活用における技術支援として、ドローンを活用した測量データの3次元化や橋梁等の台帳管理・電子化等の取組を進めます。
- ・県が開発を進めるインフラ維持管理システムの市町村への普及拡大、住民・ボランティア参画のためのインフラ維持管理技術養成講習支援を実施します。
- ・新規事業として、鳥取県土地開発公社が行う用地先行取得事務のうち、補償金支払に関する書類作成等を行います。

[事業費総括表]

(単位：千円)

区分	R2 年度予算 A	R 元年度予算 B	増減額 A - B	備考
受託（県）	76,749	73,654	3,095	土地開発公社含む
受託（市町村）	40,815	24,897	15,918	
災害復旧支援	3,000	3,000	0	市町村
ひびわれ相談	2,000	2,000	0	民間
ドローン空撮	350	350	0	県、市町村ほか
計	122,914	103,901	19,013	

(1) 受託 (県関係)

業務名	内容	予 算 R 2 年度 (R 元年度)	担当課
①建設工事下請取引等点検調査 (継続)	県発注の建設工事に係る下請取引等について適正化を図るため、その取引状況 (下請代金の見積・契約方法等) が建設業法の規定に違反がないか点検調査を行います。 (R2) 約 200 件 (R 元) 約 200 件	4,341 千円 (4,261 千円)	総務研修課
②用地先行取得に係る支援業務 (新規)	鳥取県土地開発公社が行う一般国道改築 (北条道路) 工事に係る用地先行取得事務のうち、補償金支払に関する書類作成等を行います。	1,500 千円 ( - 千円)	
③再生砕石品質実態調査に係る試験 (継続)	再生砕石は、既設の構造物 (コンクリート、アスファルト等) を破砕したものを原材料としており、原材料の均一性を確保することが困難なことから、新材と比べ品質規格を満足しないことが生じやすいため、センターにおいて、ふるい分け試験等を行い、品質を調査します。	854 千円 (1,061 千円)	材料試験課
④工事積算補助 (継続)	設計業務委託成果品をもとに、発注者用図面作成、設計数量のチェック及び算出、工事価格の積算等を行います。 (R2) 道路、河川、砂防・治山、天神川流域下水管更生 (新規) (R 元) 道路、河川、砂防・治山	27,847 千円 (26,701 千円)	
⑤ひび割れ診断 (継続)	センターのコンクリート診断士がコンクリート構造物に発生したひび割れの診断を行い、ひび割れ抑制の指導を行います。 (R2) 10 箇所 (R 元) 10 箇所	1,837 千円 (1,777 千円)	
⑥新技術・新工法活用システム事前審査 (継続)	県内の建設業者等で開発された新技術等の利活用の促進と製品の販路拡大を目的に、その工法及び製品が公共工事に活用出来るかどうかを事前に審査を行います。 (R2) 5 件 (R 元) 5 件	897 千円 (913 千円)	
⑦道路台帳等修正 (継続)	道路工事後の道路形状変更、供用開始の告示資料、道路台帳付図の修正、道路情報便覧更新作業、道路現況調査票や交付税基礎数値算定資料などの作成を行います。	15,224 千円 (15,172 千円)	
⑧工事検査補助 (継続)	当初請負対象設計金額が 15,000 千円未満の合否判定のみの工事検査について、請負業者が作成した工事完成資料の事前確認を行います。 (R2) 40 箇所 (R 元) 60 箇所	1,298 千円 (2,090 千円)	建設支援課
⑨電子成果品保管・管理 (継続)	県の請負工事及び測量設計業務に係る電子納品成果品 (CD 等) をセンター内で保管・管理します。 (R2) 600 枚 (R 元) 600 枚、ボーリングデータ	821 千円 (2,048 千円)	
⑩賃金水準等詳細調査 (継続)	県発注工事において、専門業者 (とび、型枠、鉄筋等 5 業種) への下請契約が、適正な賃金水準で契約されているかどうか調査するもので、下請契約の見積金額と設計金額とを対比させた資料を作成します。 (R2) 600 工種程度 (R 元) 800 工種程度	3,596 千円 (4,458 千円)	
⑪土木工事共通仕様書の改訂 (継続)	県の土木工事共通仕様書、施工管理基準等の改訂作業の支援と電子書籍化を行います。	1,725 千円 (1,764 千円)	
⑫インフラ維持管理技術養成講習支援 (継続)	インフラ維持管理システムの実装後、インフラ点検を担う住民・ボランティア、市町村担当者を対象に維持管理技術を養成する講習を実施するとともに、システムサーバやタブレット端末等の保守管理を行います。 (R2) 1 回開催 (R 元) 1 回開催	8,609 千円 (8,609 千円)	
⑬橋梁直営点検・診断 (継続)	橋梁直営点検の点検実地指導、診断指導、健全度判定会の運営・とりまとめを行います。 (R2) 点検 50 橋 (R 元) 点検 50 橋	4,900 千円 (4,800 千円)	
⑭公共残土利用促進 (新規)	県主催の建設発生土対策連絡協議会の開催補助を行います。	3,300 千円 ( - 千円)	
計		76,749 千円 (73,654 千円)	

## (2) 受託（市町村関係）

業務名	内容	予 算 R 2 年度 (R 元年度)	担当課
①工事積算補助 (継続)	市町村が発注する工事のうち、専門的な技術を必要とする工事の積算を行います。 (R 2) 27 件 琴浦町、境港市 (道路、下水道) (R 元) 18 件 琴浦町、境港市 (道路、下水道)	20,416 千円 (13,581 千円)	建設支援課
②現場技術 (継続)	市町村が発注する工事のうち、専門的な技術を必要とする工事の現場技術業務を行います。 (R2) 3 件 境港市 (R 元) 2 件 境港市	7,900 千円 (2,598 千円)	
③橋梁補修工事の積算、現場技術及び技術的アドバイス (継続)	市町村が発注する工事のうち、特に専門的な技術を必要とする橋梁補修工事に対するアドバイスを行います。 (R 2) 11 件 鳥取市、倉吉市、境港市、岩美町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町 (3 市 6 町) (R 元) 12 件 倉吉市、境港市、岩美町、智頭町、八頭町、三朝町、琴浦町 (2 市 5 町)	11,902 千円 ( 7,972 千円)	
④工事検査補助 (継続)	市町村発注工事の工事完成検査について、請負業者が作成した工事完成資料及び現地の確認を行います。 (R 2) 倉吉市 10 件、湯梨浜町 2 件 (R 元) 倉吉市 10 件、湯梨浜町 4 件	597 千円 ( 746 千円)	
計		40,815 千円 (24,897 千円)	

## (3) その他

業務名	内容	予 算 R 2 年度 (R 元年度)	担当課
災害復旧支援 (継続)	被災状況等の調査、復旧工法等の技術的助言及び査定設計書等の作成を行います。 (R2) 5 件 想定 (R 元) 5 件 想定	3,000 千円 (3,000 千円)	建設支援課
コンクリートひび割れ相談 (継続)	受注者からの依頼により、コンクリート構造物のひび割れをコンクリート診断士が調査し、ひび割れ発生の原因の特定、補修の要否の決定及び補修方法を記載した「ひび割れ診断報告書」の作成に併せ、ひび割れ抑制・防止対策等について受注者に指導します。 (R2) 20 件 (R 元) 20 件	2,000 千円 (2,000 千円)	
支援業務の効率化（ドローンによる空撮等） (継続)	災害状況、工事進捗状況等の把握、ドローンを活用した測量データの 3 次元化を行います。 (R2) 5 件 (空撮) (R 元) 5 件 (空撮)	350 千円 (350 千円)	
計		5,350 千円 (5,350 千円)	

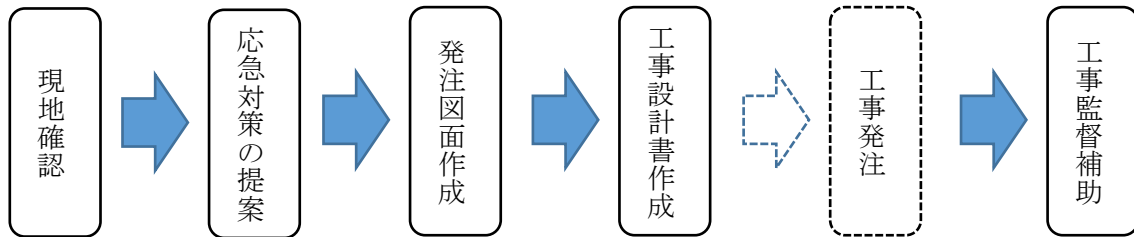


## 1-4-2 市町村インフラ維持管理支援

### (1) 維持管理支援に向けた取組み

市町村が日常の維持管理において緊急に対応が必要なものや簡易的な修繕について、センターが助言等の包括的支援を行う体制を構築し、市町村への普及拡大に取り組みます。

[センターの支援]



### (2) インフラ維持管理システム

インフラの効率的な維持管理を推進していくため、県が開発を進めるインフラ維持管理システムについて、システムの開発状況や情報収集を行い、市町村への普及拡大に取り組みます。

### インフラ維持管理システムの効果

**● 日常点検の効率化と住民通報による損傷の早期把握と情報共有**

現場ハットロール

住民通報

GIS上に表示された損傷位置や対応状況

> 損傷情報をタブレットで登録し、管理者・補修業者がGISにより迅速に共有(市町村への展開)

**● 定期走行車両の路面振動データを活用した舗装劣化区間の抽出**

スマホのセンサを利用⇒

- GPS、動画
- 加速度、角速度
- IRIの算出 (mm/m)
- 画像処理

低いIRIの区間

高いIRIの区間

倉吉駅周辺の路面性状 (H30.3月時点)

> 道路ハットロール車や宅配便等に振動センサを搭載し、自動で路面損傷状況を把握

補修対応 ↓ ↑ 対応報告

# 1-5 建設発生土受入事業

令和2年度のポイント

公共事業を円滑に進めるため、県内全域で効率的かつ経済的な受入地の確保、また切れ目なく受入地を開所するため新規候補地確保を目指します。

## ○東部地区

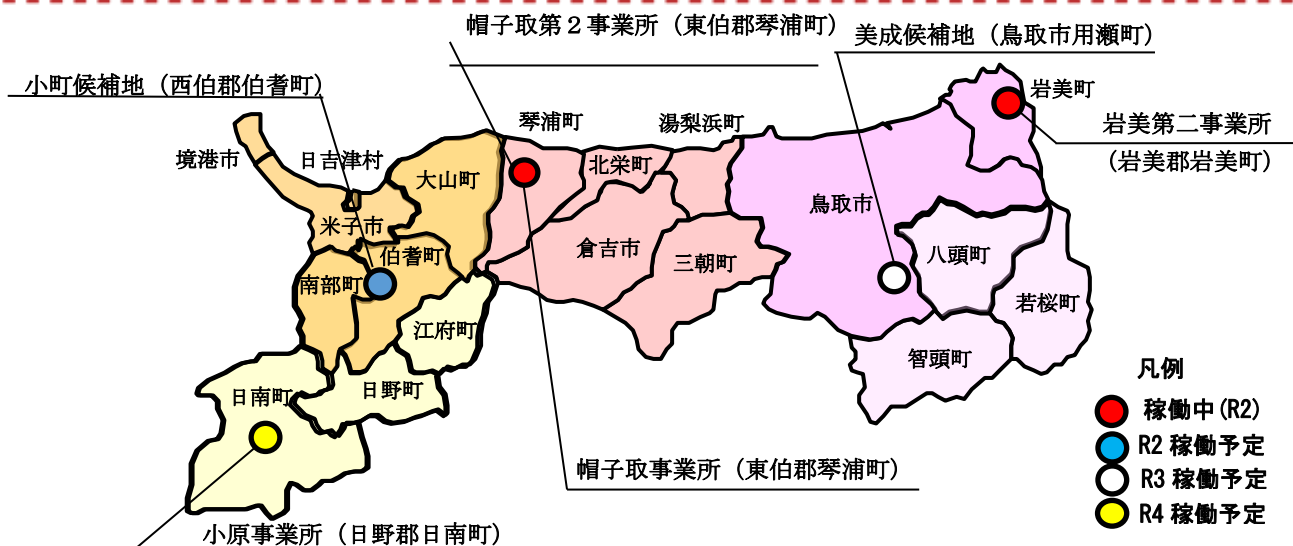
- ・用瀬町美成地区で開所を進めるとともに、新規事業化された志戸坂峠道路工事（国土交通省）の受入候補地など、新たな候補地の選定を行います。

## ○中部地区

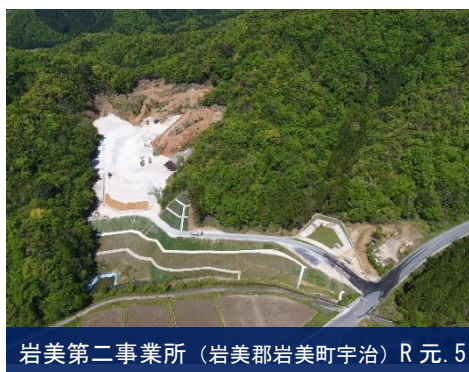
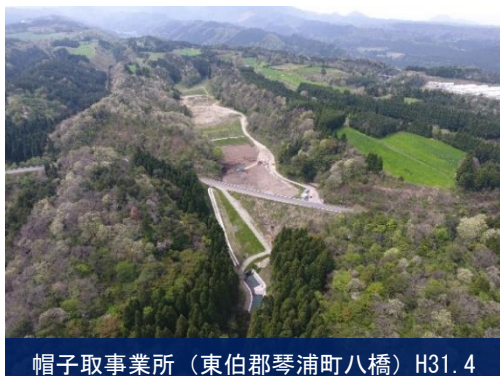
- ・帽子取第2事業所を開所し受入を開始しましたが、減災・防災対策における河川掘削等建設発生土が多量に発生しており、次期候補地の選定を行います。

## ○西部地区

- ・伯耆町小町地区を選定し、R2年度中の開所に向け準備を進めていますが、日野管内での候補地を選定し早期開所を目指します。



### 稼働中事業所



## 【事業概要】

### (1) 東部地区

- ・岩美第二事業所（岩美郡岩美町）はR2年度も引き続き岩美道路専用処分場として7千5百m<sup>3</sup>の受入を行います。また、岩美道路完了後の受入残容量8万7千m<sup>3</sup>について、新たな公共工事残土受入など取扱いを検討します。
- ・美成候補地（鳥取市用瀬町）は、H29年度から開所準備を進め、R2年度から受入を行います。

### (2) 中部地区

- ・帽子取事業所（東伯郡琴浦町）の受入が完了し、R2年度は場内仕上工事等を実施し、地権者へ返還します。
- ・帽子取第2事業所（東伯郡琴浦町）は、R2年度は10万m<sup>3</sup>の受入を行います。

### (3) 西部地区

- ・小町候補地（西伯郡伯耆町）は、H30年度から準備を進めており、R2年中には受入を開始し、5万m<sup>3</sup>の受入を予定しています。
- ・小原事業所（日野郡日南町）は、国土交通省が実施する鍵掛峠道路トンネル工事からの建設発生土の受入準備を進めており、R2年度は進入路の残土5千4百m<sup>3</sup>を受入れ、トンネル工事の残土受入はR4年度から実施します。

### (4) 新規候補地

- ・東部管内は用瀬町美成候補地以外の新規候補地の選定を急ぎます。
- ・中部管内は帽子取第2事業所が開所しましたが、減災・防災対策における河床掘削等大量に建設発生土が見込まれることから、引き続き受入体制を整えるため、新規候補地の選定を行います。
- ・日野管内で進めていた日野町別所及び江府町宮市候補地については、地権者及び下流地区の理解を得られなかったため、他の候補地選定を急ぎます。

受入収入一覧表 1,320円/m<sup>3</sup>（※岩美第二は2,530円/m<sup>3</sup> 小原は2,200円/m<sup>3</sup>）

地区	事業所名	R元年度予算 A		R2年度予算 B		増減額 B-A (千円)	備考
		土量(m <sup>3</sup> )	収入(千円)	土量(m <sup>3</sup> )	収入(千円)		
東部	岩美第二 (岩美郡岩美町)	96,000	240,672	7,500	18,975	△221,697	
中部	帽子取第2 (東伯郡琴浦町)	29,000	38,184	100,000	132,000	93,816	
西部	小町 (西伯郡伯耆町)	—	—	50,000	66,000	—	
	小原 (日野郡日南町)	—	—	5,400	11,880	—	
計		—	—	162,900	228,855	—	



R2年度 工事・詳細設計等予算一覧表

(単位：千円)

地区	事業所名	工事・詳細設計等予算額			
		予算額	R元年度 予算額	R2年度 予算額	備考
東部	岩美第二 (岩美郡岩美町)	10,000		10,000	造成工事 (R2.6~R2.10)
	美成 (鳥取市用瀬町)	4,000		4,000	林地開発申請書作成業務(1期) (R2.5~R2.8)
	三谷第2	2,000		2,000	場内仕上工事 (R2.9~R2.12)
中部	帽子取 (東伯郡琴浦町)	46,000		46,000	場内仕上工事 (R2.5~R2.12)
		3,000		3,000	林地開発変更申請書作成業務 (R2.5~R2.8)
	帽子取第2 (東伯郡琴浦町)	45,000	18,000	27,000	場内準備・造成工事(R元債務負担行為) (R2.2~R2.7)
		42,000		42,000	造成工事 (R2.6~R3.3)
西部	小町 (西伯郡伯耆町)	22,000		22,000	用地等詳細測量 (R2.4~R2.8)
		120,000		120,000	場内準備・造成工事 (R2.8~R3.3)
	小原 (日野郡日南町)	10,400		10,400	場内造成・進入路設置工事 (R2.5~R2.8)
	新規候補地調査	10,000		10,000	新規2箇所概略設計
計		314,400	18,000	296,400	

事業所別受入土量見込

(単位：千m3)

地区	事業所名	受入期間	全体 土量	R元 受入土量	R元末 受入累計	R2 受入土量	R2末 受入累計	R2末受入 可能土量	進捗率 (%)
東部	岩美第二	H28年8月~R2年度	250	90	156	7	163	87	65%
	美成	R3年~R8年	540	—	—	—	—	540	0%
中部	帽子取	H23年12月~R元年度	406	53	406	—	406	0	100%
	帽子取第2	R元年~R5年度	470	11	11	100	111	359	23%
西部	小町	R2年度~R7年度	840	—	—	50	50	790	5%
	小原	R2年度~R6年度	250	—	—	5	5	245	2%
計			2,756	154	573	162	735	2,021	

## 6 法人の運営・管理の運営

### (1) 理事会及び評議員会の開催について

#### ①理事会

開催時期	内 容
R2年 5月	R1年度事業報告、決算及び評議員会の開催について
R2年 10月	R2年度職務執行状況について
R3年 3月	R3年度事業計画書等について及び評議員会の開催について

#### ②評議員会

開催時期	内 容
R2年 5月	R1年度事業報告及び決算について
R3年 3月	R3年度事業計画書等について

### (2) 監事監査の実施について

開催時期	内 容
R2年 5月	R1年度決算監査
R2年 11月	R2年度定例監査

### (3) 建設技術センターまっりの開催について

- ①開催日 令和2年10月中旬(日)  
 ②テーマ 「未来に向けてチャレンジ」(仮)  
 ③主 催 鳥取県産業人材育成センター倉吉校と合同で開催  
 ④内 容(案) ・新しい技術体験コーナー(ICT技術等)  
 ・子どもコーナー(重機ラジコン操作、重機乗車体験等)  
 ・地域連携コーナー(埋蔵文化財センター、上北条公民館、県内企業等)  
 ・体験コーナー(コンクリート試験体験、砂像体験等)  
 ⑤参加人数 1,000人(予定)



令和元年度センターまっりの様子